

令和6年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

テーマ: 地域とふれあい、 豊かな心を育てよう

佐世保市立福石中学校
佐世保市干尽町2番10号
校長 堀川 優彦
生徒数 217名
学級数 9（内特支2）

本年度のテーマを「地域とふれあい、豊かな心を育てよう」を定め、ウイズコロナの中で佐世保市を担う人材の育成と情操教育の充実、学力の向上を目指し、地域に生きる生徒を育てようと努めた。

1 郷土人材活用による郷土学習の推進・深化

本校では、郷土についての理解と関心を深め、自分の将来の目標を立てるきっかけづくりとして、職業講話を行った。本市出身の2名の方を講師として招き、仕事に対する考え方や必要な知識や資格などを講話していただき、将来の職業に対する意識を高めることができた。また、佐世保市の未来を担う人材育成のため、プロジェクト学習で佐世保市の魅力発信をテーマに講師の方に講話をしていただき、生徒は各学級で佐世保をテーマとした商品づくりを行い、佐世保市の現状と今後の課題を考えることができた。

薬物乱用防止教室は、6月20日に実施した。長崎大学の名誉教授の方を講師に招き、3年生に対し講話を行った。外部講師の専門的な話から、生徒たちは薬物乱用の恐ろしさを強く実感した様子であった。

2 郷土人材招聘による情操の涵養

今年度は郷土人材招聘のテーマのもと、地域から人材を招き、触れ合いの中で学習することができた。2年生は、12月13日にがん教育の講話を行った。講師を本校の養護教諭が務め、がんとはどのような病気か、治療方法、がん患者の気持ちなどががんの特徴と課題について、深く考えるきっかけとなった。

佐世保市社会福祉協議会の地域福祉課の方を講師に招き、高齢者福祉体験を11月13日に2年生を対象に行い、これからの社会問題である高齢者福祉を体験し、未来を担う生徒たちが行う役ことを考える機会となり、生徒たちは大いに感銘を受けていた。



3 生徒の自律の促進

本事業を行うことにより、生徒の心情面を盛り上げ、情操を豊かにするような取組を目指した。

部活動では、生徒たちは精いっぱい頑張りを見せ、成果をあげた。特に女子バスケットボール部においては、県大会のベスト4に進出することができた。本校の生徒が活躍することで、学校への誇りを高め、地域の応援もいただいた。

スポーツ面だけではなく、文化面での頑張りも目覚ましかった。様々な作品が県や九州でも入賞し、情緒面での成長がみられた。

学力向上のため、web教材を利用したり、グループなどで活動話し合いを行った。基礎基本を鍛えるための取組が行われ、働き方改革を進めつつ、個別最適な学習を推進することができた。

また、12月に本校独自で2回目の「心の状況調査」を行った。結果の分析を生徒に投げかけることで、生徒が自分たちで課題を解決しようとする姿勢を育てた。

さらに、本校の生徒会スローガンの横断幕の作成を行い、生徒の学校への愛校心を育てる取組を行った。校訓、生徒会スローガンの横断幕は校門横に掲示し、保護者や地域の方々への理解、協力をさらに推進し、地域に根差した学校教育の充実を図っていく。

今年度は地域の方や社会福祉協議会の協力により、充実した取組を行うことができた。その中で、本事業のお陰で外部講師を潤沢に呼ぶことができ、校内外の環境を整備することで情操を涵養することができた。その結果、生徒たちは活気あふれる学校活を送ることができた。

